



知っておきたい大切なこと

リキッドバイオプシー検査は自由診療ですので、当院の患者さんについてはがん相談支援センターに相談のうえ、ご自身で予約手続きをお願いします

他院の患者さんにつきましては主治医とご相談のうえ、当院セカンドオピニオン外来を受診していただきます。当院の専門医によって検査可能か否かを検討いたします

検査実施の前に「がんゲノム医療コーディネーター」による説明と同意取得の手続きがあります。同意していただいた患者さんは、当日採血か、別途採血日を予約いたします

検体の検査会社への発送は支払いの確認後に行われます。恐縮ですが、採血当日に会計をお済ませください

東北大学病院の実績（令和元年7月から翌年5月までの87例）では約12%程度で何らかの治療薬が推奨されました

リキッドバイオプシー検査は通常より多めの採血が必要です。血液中ににじみ出るがん細胞由来のDNAが少ない場合、結果が得られないことがあります（結果が得られなくとも費用はかかります）

「二次的所見」として遺伝性（近親者にも関係する）の腫瘍に関わる遺伝子の変化が見つかることがあります



リキッドバイオプシー検査の対象となる方（自由診療）

以下の条件をすべて満たす方が受診可能です

固形がん（塊状に増殖するがん）の方
白血病など血液のがんには対応していません

がんが進行している方
早期のがんでは結果が出ないことがあります

保険診療の「がん遺伝子パネル検査」の受診が困難な方
手術標本が小さいないし古い、手術や生検が難しい場合などが当てはまります



検査にかかる費用について

* ガーダント360検査料	419,100円
* がんゲノム外来 結果説明料（1時間まで）	11,000円

合計	430,100円

※他院の患者さんの場合は別途セカンドオピニオン外来費用（30分 11,000円～）が発生します

お問い合わせ

地方独立行政法人宮城県立病院機構
宮城県立がんセンター がん相談支援センター

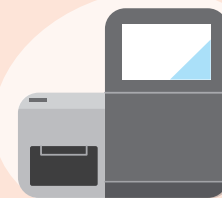
〒981-1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山47-1

TEL:022-384-3151

遺伝子を調べる新しい医療

リキッドバイオプシー検査のご案内

～自由診療でのがんゲノム医療～



地方独立行政法人宮城県立病院機構
宮城県立がんセンター がんゲノム医療センター

リキッドバイオブシー 検査とは

リキッドバイオブシー検査とは血液に染み出てくる腫瘍由来DNA配列を読み取り、がん医療に関連する70以上の遺伝子の中の変化を検出する自由診療の検査です。保険診療の「がんゲノムパネル検査」と異なり、20mlの採血で同じ効果を狙います。全身の臓器をめぐる血液はがん組織にも到達し、そこから漏れ出るわずかなDNAを検出します。それ以外の原理は「がん遺伝子パネル検査」と同じです（原理の説明は「がん遺伝子パネル検査」パンフレットをご参照ください）

検査の流れ 報告まで1~2ヶ月かかります

当院にかかっている方

がん相談支援センター
(検査予約)



自由診療ですので、がん相談支援センターと相談しながら予約手続きをお願いします。他院患者さんも同様です

他院からの紹介の方

セカンドオピニオン
外来



他院の患者さんは「セカンドオピニオン外来」を受診していただき、検査が適応となれば、同日のうちに詳しい検査説明があります

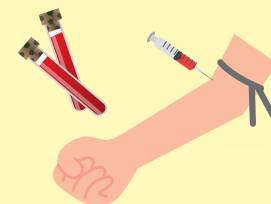
検査説明



検査の流れや重要事項をがんゲノム医療コーディネーターが詳しく説明いたします

※採血、支払いは同日に実施します

採血



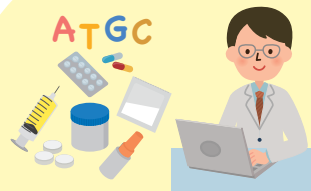
検査に必要な採血を実施します。支払い確認後に検査会社に送付します

リキッドバイオブシー
検査



次世代シーケンサーで70種類以上の遺伝子を検査します

結果の分析



検査結果から利用可能な薬剤や治験*を探します

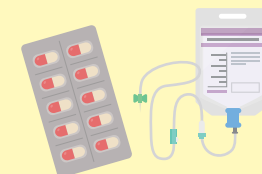
*治験：新薬の評価のために患者さんに参加してもらって実施する試験

結果説明



がんゲノム医療センターの医師から結果について説明いたします。結果をお持ち帰りいただき、主治医の先生とご相談ください

治療



検査により、利用可能な治療薬や治験が見つかった場合は治療に進みます

※当院では保険診療での治療のみ実施いたします